

聞いた習った感じた...いのち

6月6日、袋井北小学校の6年生が「命の大切さ・救急ふれあい教室」で命の大切さや心肺そせい法（人工呼吸・心臓マッサージ）を学びました。袋井消防署の救急救命士を講師に招き、命について考えるビデオを見たり、

聴診器を使って自分や友達の心臓の音を聞いたりしました。人工呼吸や心臓マッサージの体験では実際の負傷者を想定し、緊張しながらも真剣に取り組んでいました。



プロ選手からタグラグビーを習ったよ

6月8日、笠原小学校2・3・5年生がラグビー元日本代表の村田^{むらた}互さんから（ヤマハ発動機ラグビー部所属）からタグラグビーを教えてもらいました。タグラグビーとは、タックルの代わりに腰に付けたひもを取り合う新しいスポーツで、激しい接触をしないでラ

グビーの楽しさを体験できます。プロ選手から直接教えてもらえるということで、みんな目を輝かせながら指導を受けていました。ミニゲームでは、習ったばかりの動きを生かして、たくさんパスやトライを決めていました。



ほほえみの路 きれいに植え替え

6月12日、袋井市花の会の皆さん20人と袋井東小学校5年生48人が、ほほえみの路（袋井市国本）の花の植え替えを行いました。

花の会の方から苗の植え方について教えてもらった後、グループに分かれ

て植え替えに挑戦。児童たちは、サルビアやマリーゴールド、ニチニチソウなど2,550株の苗を丁寧に植えていきました。

花は、8月に見ごろを迎え、ほほえみの路を華やかに彩ります。



健康づくりの提言

6月10日、月見の里学遊館で健康づくりシンポジウムが開催されました。

原田英之袋井市長や富田寿人静岡理工科大学助教授、大角恵子管理栄養士などがパネリストとなり、「1日に30分歩こう」、「しっかり朝ごはんを食べよう」、「1日に手ばかり3杯分の野菜を食べよう」など健康づくりについて提言。

会場に詰めかけた約300人の皆さんは、パネリストたちの話に熱心に耳を傾けました。



浅羽B&G いよいよオープン!

6月17日、浅羽B&G海洋センターがオープンしました（夏期限定で、8月31日(木)まで閉館）。

オープン初日は、無料開放され、たくさんの子もたちや親子連れでにぎ

わいました。子どもたちは、「まだ水は冷たいけれど楽しい」と気持ちよさそうに水の感触を楽しみました。

無料開放日 7月16日(日)・17日(月)海の日、8月20日(日)・31日(木)

